単型工下   列助児発育・発達相談事業   接了中版   存版   接近   存成   存成   存成   存成   存成   存成   存成   存	7	平质	<b>龙</b> 2	28 年月	き事務等	事業評値	面表(一	-般月	∄)								
西美の種類   特別の大田   予集の機能の   中級   接近の   接近			L*														
事業の担当   治療所   法定受託事務   法定受託事務   法定受託事務   本の   本の   本の   本の   本の   本の   本の   本	081210 乳幼児発育・発達相談事									is included							
### 2月間の主張   日本の   日本の			開始	注度 平成	,14 年度			終了年度		年月	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	/ // /			G		_
□		5 717								法定受託 + 附加			根拠法令				
数合計画の英語   整   便序・福祉   節   策彦   医療   生産・通した健康で10の推進   ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	3.												母子保健法、所沢市母子保健事業実施要網				
展表	-11			章健康	·福祉	節	節 保健·医療			基本 大針 生涯を通した健康			づくりの推進				
要素曲音の予防・早期発見・早期対応として、専門性の高い組制能を完実させることにり、自児不安の強い阻倒への支援を行い、育児不安の経滅及び家性におり、学育・栄養性ものもの安らかな発育・栄養を従継することもに、人間形成の基盤となる乳が児期の母子倒れを建立することも目的とする。 対象に置き、何を到象としているのか) ・ 美育・柴達相談。 MCら「役と子の関係を考える会)、子育てメンタル相談の参	概	事業	開始の背景	ストレスが	核家族化、子育て環境の変化や近隣との関係の希薄などにより、家庭の育児機能ストレスが深刻化している。こうした状況の中で、より専門性の高い相談を充実させ												
# 第一・飛途相談 M (G (母と子の関係を考える会) 子育でメンタル相談の参加対象者 (別別)		児童	虐待の予防	i·早期発見·早	!期対応として、	専門性の高い相											ś
東京の資格的な内容及び実施方法	3.	発育·発達相談、 MCG(母と子の関係:			*	:考える会)、 子育てメンタル相談の参			対象数	対象数 単位 ———						人	
内内	業											T13% 21	十尺		401		
子算現録   3,914   3,877   3,728   (元本登上によることばの相談はニーズが高く参加希望者が多かったことから、通常の   147   148目標値   15,000   14.9   14.7   15,000   14.9   16,631	内	内 1、発育・発達相談・・・ 小児科医師による医師相談(年23 回)、 臨床心理士による心理相談(含 発達検査)年36回、 言語聴覚士によることばの相談(年39回 希望者が多かったため3回追加で相談を実施)、 作業療法士による運動あそびの相談(年24回) 2、MCG(母と子の関係を考える会)・・・母がゆっくりと話が出来るように、児の保育を行い、臨床心理士が中心となりグループミーティングを行う(年12回)														`	
注象				一般	会計	平成 26	年度(	,	平成	27	年	度 (		平成	28 年度	(千円)	
# 中の				\ 71    ±\\											3,92		25
1.72 人   15.000   1.49 人   12.903   平成28年度のみ、当初予算の内閣となっています。   中成28年度のみ、当初予算の内閣となっています。   中級財産   日表61   日表61   日表61   日表61   日表61   日表61   日表61   日本6					的任用職員) (				 (	人)	(		人) 「財源内訳」について 12,903 平成28年度のみ、当初予算 の内訳となっています。				
18,761   16,631   18,761   16,631   18,761   16,631   18,761   16,631   18,761   16,631	経			-7 (	(7)11/13/44999)												
図	費	事業	費合計					18,761									
「京田・東京 日本   10   147   146   147   146   147   146   147   146   147   146   147   146   147   146   147   146   147   146   147   146   147   146   147   146   147   146   147   146   147   146   147   148			活												3,925		
実施回数   各事業実施回数合計   回			内 国 完立		d金 )									0			
接示   接示   接示   接示   接示   接示   接示   接示				項	目名		項目説明		単位			H 26		H 27	H28見込み	将来目標	馬
対象人数						各事業実施回	111 1111 11					1	47	146			
項目名 項目説明 単位 H 26 H 27 H28目標値 将来	実績	活動実績		参加者数					人			4	159	384			
成果指標 参加率 参加者数÷各事業の対象人数×100 % 目標値 100 100 100 実績 89 82 図 拡大図る □ 縮入 100 実績 89 82 図 拡大図る □ 縮入 100 実績 89 82 図 が表図る □ 縮入 100 実績 89 82 図 が表図る □ 縮入 255かを チェックして(ださい) (2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析 100 実施に加え、3回の臨時開催を行い相談機会の充実を図った。 相談希望者は多く、相談予約は早くから埋まるが、対象者が乳幼児や料に不安定な母親が対象であるため、直前の相談キャンセルがあり、参加が減ってしまう傾向にある。 「対象者が乳幼児や料に不安定な母親が対象であるため、直前の相談キャンセルがあり、参加が減ってしまう傾向にある。 「対象者が乳幼児や料に不安定な母親が対象であるため、直前の相談キャンセルがあり、参加が減ってしまう傾向にある。」 「独特 100 実施に加え、3回の臨時開催を行い相談機会の充実を図った。 「対象者が乳幼児や料に不安定な母親が対象であるため、直前の相談キャンセルがあり、参加が減ってしまう傾向にある。」 「東書実施方法」 100 実際のニーズを捉え対応していきたい。 「東書実施方法」 100 実際のニーズを捉え対応していきたい。 「東書との子的・早期発見・早期対応として、専門性の高い相談を充実を図った。」 「東書との子の・早期発見・早期対応として、専門性の高い相談を充実を図った。」 「東書との子の・早期発見・早期対応として、専門性の高い相談を充実を図った。」 「東書との子の・早期発見・早期対応として、専門性の高い相談を充実を図った。」 「東書との子の・100 またり、100 また				対象人数				人	Ę			525 46					
成果指標   参加率   参加者数÷各事業の対象人数×100   %   実績   89   82   ☑ 拡大図る □ 縮/				項	目名		項目説明		単位			H 26		H 27	H28目標値	将来目標	馬
実績 89 82   「実績 89 82   「表領」		成里	北桓	参加家	参加率				%	目標(	直	1	00	100			00
(1) 平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)  (2) 平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析  (1) 平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)  (2) 平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析  相談希望者は多く、相談予約は早くから埋まるが、対象者が乳幼児や精に不安定な母親が対象であるため、直前の相談キャンセルがあり、参加  (本書) 「本書 「大き」 「大き」 「大き」 「大き」 「大き」 「大き」 「大き」 「大き」		ル米	1) <b>=</b> 1	<b>多加平</b>		参加有数÷日争業の対象人数 ₹ 100		70	実績			89 8		32 ☑ 「実績」 □ 「実 拡大図る □ 縮小			
改善点 言語聴覚士によることばの相談はニーズが高〈参加希望者が多かったことから、通常の に不安定な母親が対象であるため、直前の相談キャンセルがあり、参加に不安定な母親が対象であるため、直前の相談キャンセルがあり、参加が減ってしまう傾向にある。		目標達成状況とれだけ目標に近づ			<mark>†目標に近づい</mark>	ているかを達成率として示しています			%	達成至	枢		89	82			
善善点 言語場見工によることはの相談はニースか高く参加希望者が多かったことから、連帯の に不安定な母親が対象であるため、直前の相談キャンセルがあり、参加 に不安定な母親が対象であるため、直前の相談キャンセルがあり、参加 が減ってしまう傾向にある。 「に不安定な母親が対象であるため、直前の相談キャンセルがあり、参加 が減ってしまう傾向にある。 「に不安定な母親が対象であるため、直前の相談キャンセルがあり、参加 が減ってしまう傾向にある。 「に不安定な母親が対象であるため、直前の相談キャンセルがあり、参加 が減ってしまう傾向にある。 「はたい。」 「本大」 「本大」 「本大」 「本大」 「本大」 「現状 「本の 数等のニーズを捉え対応していきたい。 「現状 「本の 数等のニーズを捉え対応していきたい。」 「現業を含の予防・早期発見・早期対応として、専門性の高い相談を充実さ		(	(1)平成27	年度中に改善し	た点(改善内容	宮·その結果につ	いて記載してく	ださい)	(	2)平成:	27年	度成果指	<mark>標の目</mark>	<mark>票値が未</mark>	達成の理由・	分析	
□ 終了	改善点							ら、通常の	に不安定	な母親が	が対象	えであるた					
		評				ス 「 改善・										回	
を続き実施していく必要があるため。	評	1曲		性の次年度予算				<sup>  大</sup> 理由	こどもの発育	どもの発育発達を促進し、良好な母子関 続き実施してい〈必要があるため。					系を確立していくためには今後も引		
(1)平成28年度に取り組んでいる状況 (2)今後の方向性 (2)今後の方向性											)今後の	万冋性					
□   専門相談後の継続した文援については、関係機関との連携により切れ目のない文援を   ことから、相談者がより継続的に支援が受けられるよう、こども福祉課と	価								平成29年には総合福祉センター(こどもと福祉の未来館)が開設予定であることから、相談者がより継続的に支援が受けられるよう、こども福祉課と情報共有を図り就園や就学を控えている児はこども支援センターにつないでいく。								B
評価日 H28.8.12 評価者職氏名 健康づくり支援課長 渕江 弘行		評価日 H28.8.12 評価者職氏名 健康づくり支援課長 渕江 弘行															
	環境影響	有益な環境影響										の作成	į				<b>#</b>
大工 1 mm 1 c 2 c 2 c 2 c 2 c 2 c 2 c 2 c 2 c 2 c	環境影響	T四十立 見く 須収								<del>有害な環境影響</del> 及ぼす原因活動 文書の作成				<u> </u>	規制を受ける環境法令等 緊急事態		